

その他（ライフライン・石垣・橋梁など）の報告

2026.8.6

○立命館大学 井上 和真

京都大学 上田 知弥

大日本ダイヤコンサルタント 高德 純也

大林組 佐々木 智大

本地震の被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

本資料は、令和8年7月31日、8月1日に実施した被害調査の速報であり、被害調査範囲も限定的です。

被害のメカニズムを解説するものではありません。

地震被害調査の概要

<調査メンバー>

上田(京大) 高德(大日本ダイヤ) 井上(立命館大) 佐々木(大林組)

<調査日>

2026年7月31日, 8月1日

<調査地点>

熊本県八代市・宇城市・氷川町



画像引用： Mapion

7/31・8/1の現地の状況

地震発生

- ・ 7/28(火) 16時27分

調査行程

- ・ 7/30(木)に博多集合，7/31(金)の早朝に博多をレンタカーで出発，高速道路で松橋ICまで移動，八代市・宇城市・氷川町の調査，7/31(金)は熊本市内に宿泊
- ・ 8/1(土) 八代市・宇城市・氷川町の調査，熊本空港にて解散

現地の様子

- ・ 7/31・8/1共に調査地点近傍のコンビニなどの店舗は休業（物資・断水の影響か?）
- ・ 段差（路面変状・橋台背面の沈下・支承の損傷など）による渋滞
- ・ ガソリンスタンドも休業が多く，少ない営業中の店舗は給油の待ち行列
- ・ 7/31の時点で熊本市内はほぼ平常通り
- ・ 8/2には八代市内で飲食店の再開，コンビニ等の店舗の再開も見られた。
ガソリンの列も解消されつつあった（京大・後藤先生談）

橋梁の段差・道路の変状に伴う交通渋滞



金剛橋 1973年竣工

南側
アプローチ部



【損傷箇所の応急復旧】



南側橋台



橋梁の段差・道路の変状に伴う交通渋滞



八代城跡



八代神社



道の駅 竜北付近の断層変位



道の駅 竜北付近の歩道橋 (次ページの駐車場スラブに接続)



道の駅 竜北付近の歩道橋と駐車場のスラブ



新萩原橋 1974年竣工



横江大橋 1979年竣工

八代市鏡町



- 2径間トラス橋+ 2径間単純桁
- 橋軸方向：南北
- 2016年熊本地震で被災.
中間橋脚の沈下が発生
→当該橋脚は撤去のち再構築

構造物被害

- 南側の掛違橋脚に傾斜発生
(通行止め)

横江大橋 1979年竣工

八代市鏡町



刈萱橋 1973年竣工

宇城市小川町



- 鋼2径間単純桁橋
- 橋軸方向：南北

構造物被害

- 橋桁の縦断線形が折れている
（中心に向かって勾配がある）
- 南側支承が破断し離隔が発生
- 縁端拡幅工に乗ったことで
落橋を免れている

刈萱橋 1973年竣工

宇城市小川町



九州新幹線 高架橋



まとめ

- ・ 八代市・宇城市など，断水が多数（断層変位の影響か？）＋酷暑
- ・ 段差（路面変状・橋台背面の沈下・支承の損傷など）や信号の停電による交通渋滞
- ・ 橋梁本体の被害のみならず，添架管の被害
- ・ 横江大橋：2016年熊本地震で被災したが，2026年の地震で再被災
- ・ 刈萱橋・新幹線高架橋など，耐震補強の高架や耐震設計技術の向上により被害を減らすことが出来た事例もある

今後：

- ・ ハード（橋梁本体など）の損傷が社会システム（渋滞・復旧など）にどのような影響を及ぼすか
- ・ 被害のみならず，効果を発揮した事例（成功事例）も収集